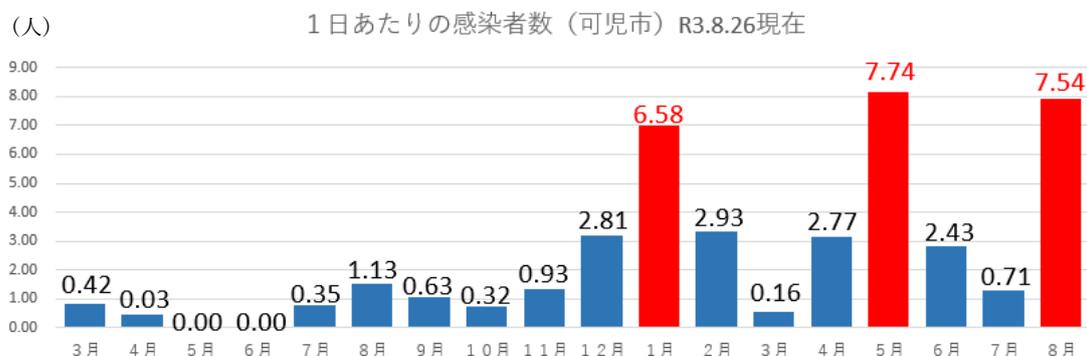


感染予防対策について（お願い）



* 報道発表を基に本校で作成したグラフ

市内でも8月中旬から感染者数が増えていて、最もひどかった5を上回る勢いです。このような中、来週から学校生活が始まります。学校では、国や県、市が示すマニュアル等に沿って感染予防対策を行っていきます。

- ◆ 基本的な感染予防対策を徹底して行いますが、少人数登校をしてもなお、机の間を十分空けることはできません。その分、換気を徹底し、感染リスクを下げるよう努めます。ご家庭におかれましても、基本的な感染予防対策の取組にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 基本的な感染症対策の徹底

個人の基本的な感染予防対策は、変異株であっても、3密（密集・密接・密閉）や特にリスクの高い5つの場面の回避、マスクの適切な着用、手洗いなどが有効とされており（※）、このことはデルタ株についても同様である。このため、衛生管理マニュアルの内容に従って感染症対策を行うことにより、学校内で感染が大きく広がるリスクを下げる可以考虑とされることから、改めて内容の確認と徹底を図ること。

* 小学校、中学校及び高等学校等における新学期に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底等について（文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課）より抜粋

- ◆ 学校でクラスターを発生させないためには、「水際対策」を徹底することが大切です。健康チェックカードでお子さんの毎日の健康状況を把握し、登校時にお子さんに持たせてください。忘れてたり記入に不備があったりした場合、風邪症状が「ある」という記述がされていた場合には家庭連絡します。
- ◆ お子さんに風邪症状がみられる場合には、登校を控えるようお願いいたします。ただし、アレルギー性鼻炎などが原因の場合は除きます。

◆感染拡大が収まるまでは、同居の家族の方に風邪症状がみられる場合もお子さんの登校を控えるようお願いいたします。(欠席の扱いはしません)

・発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪症状があり、普段と体調が少しでも異なる場合には、児童生徒等・教職員ともに自宅での休養を徹底すること。特に、衛生管理マニュアルで示す地域の感染レベル (以下単に「レベル」という。) が3及び2の地域では、同居の家族に同様の症状が見られる場合も登校・出勤を控えるようにすること。また、発熱等の風邪症状がある場合は、かかりつけ医等の身近な医療機関に直接電話相談し、医療機関を受診するよう促すこと。

* 小学校、中学校及び高等学校等における新学期に向けた新型コロナウイルス感染症対策の徹底等について (文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課) より抜粋

◆合唱やリコーダーなどの演奏を控えたり、感染リスクを下げ短時間で行ったりするなど、学校では感染リスクが高い活動には慎重に対応します。

◆8/30～9/10の少人数登校期間中は、下校が早かったり学校が休みとなったりしますが、大勢で友だちの家に集まり、「3密」状態で遊ぶようなことを控えるなど、家庭での過ごし方をお子さんとよく話し合ってくださいようお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



「(2021年8月版) 新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する 11 の知識」より

今は、「子どもや教職員とその家族の方々の命を守る」ことが最優先課題です。本来であれば、学校が家庭生活に干渉することはありませんが、「緊急事態宣言」下の厳しい状況を乗り切っていくために、ご協力よろしくお願ひいたします。